

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	01	02	104030	児童・生徒表彰事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-2 学校教育の充実				
	施策	2 豊かな人間性の育成				
目的	知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成に寄与するため、体育文化等の活動において、顕著な成績を収めた児童生徒を表彰する。					
対象	花巻市立小・中学校に在学する児童生徒					
意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲をもって学校生活を送る</li> <li>・各種大会やコンクール、伝承活動へ積極的に取り組む</li> </ul>					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
<p>○児童・生徒表彰 186千円 児童生徒の体育・文化等の対外的活動において、花巻市の教育向上に資する顕著な成果を収めた個人・団体に、その榮譽をたたえることを目的に児童・生徒榮譽賞授与式を実施</p> <p>【平成30年度実施】 ・期日 平成31年2月6日（水） 各学校で表彰を実施</p> <p>【平成29年度実施】 ・期日 平成30年2月7日（水） インフルエンザのため各学校で表彰を実施</p> <p>【平成28年度実施】 ・期日 平成29年2月8日（水） インフルエンザのため各学校で表彰を実施 受賞者数 19団体（153人）、個人186人</p>						
市民参画の有無 【 】						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 学校数	校		計画	30	30	
			実績	30	30	
② 花巻市内児童生徒数	人		計画	7,295	7,133	
			実績	7,308	7,123	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 児童生徒榮譽賞受賞者数	人		目標	400	400	
			実績	363	393	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
小中学生とも、スポーツ少年団やクラブチームに所属して上位成績を収め、「団体の部」で表彰される児童生徒が増えている。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	市内全ての児童生徒を対象とした対象という点で類似事業はなく、スポーツ及び文化の分野で優秀な成績を収めた者が集まり表彰を受けることは、互いの切磋琢磨の向上に寄与するところが大きく、他に代替するものはない。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	児童生徒数、クラブやチーム数が減少していく中で、地域の伝統芸能の継承活動など特色ある活動を持続・推進していく後押しとなることが肝要である。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="radio"/> 事業費の削減余地がある <input type="radio"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	賞状の印刷が主な経費である。学校での授与としたので、バス借上げ料が削減された。審査や表彰で個人情報を取り扱うため、委託には馴染まない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	花巻市内の全児童生徒を対象に、同一基準で選考しているため公平である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
表彰を受ける児童生徒が一堂に会することで、優れた成績に互いに刺激を受け、さらに飛躍する気持ちを高めることが出来ること、受賞しなかった児童生徒が自分も受賞したいと思うことで向上心の動機づけとなるので継続してきた事業ではあるが、小中とも市外のクラブチームに所属して団体受賞する児童生徒が増えている。一部保護者からは習い事（珠算・ピアノ等）で表彰するのは不公平という意見も寄せられた。 クラブチームの練習の送迎や習い事など、児童生徒の活動範囲は保護者の経済力や養育環境に大きく影響を受けるため、表彰のあり方について学校や保護者PTAの意見を聴きながら見直しをしていく必要がある。		

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	01	02	104030	児童・生徒表彰事業

単位：千円				
	29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費	525	186		△ 339
財 源 内 訳	国・県			
	地方債			
	その他			
	一般財源	525	186	△ 339

※特定財源の内訳
----------

事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	--------------------------------	-------------------------------	-----------------

部重点施策における目標  
豊かな人間性を育む

事業開始の背景・経緯  
各学校において各種大会やコンクール、伝統芸能への積極的な取り組みを行っていたが、その活動等において顕著な成果を収めた児童生徒を表彰し、意欲を高めるため、昭和60年度より事業を実施した。

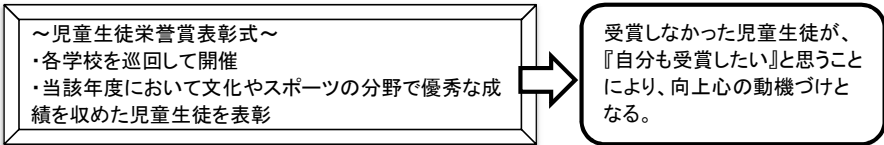
事業概要  
○児童・生徒表彰 186千円  
児童生徒の体育・文化等の対外的活動において、花巻市の教育向上に資する顕著な成果を収めた個人・団体に、その栄誉をたたえることを目的に児童・生徒栄誉賞授与式を実施

- 【平成30年度実施】
  - ・期日 平成31年2月6日（水） 各学校で表彰を実施
- 【平成29年度実施】
  - ・期日 平成30年2月7日（水） インフルエンザのため各学校で表彰を実施
- 【平成28年度実施】
  - ・期日 平成29年2月8日（水） インフルエンザのため各学校で表彰を実施
  - 受賞者数 19団体（153人）、個人186人

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）  
一部保護者から、養育環境は生徒によって違うのに習い事（珠算、ピアノ）で表彰するのは不公平という意見があった。

担当部署 部名 教育部 課名 学校教育課 担当係長 菅原 修一 内線 9-30-362  
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



- 【表彰基準（抜粋）】
- 体育的分野及び文化的分野
    - ア 岩手県、東北又は全国的規模の公的な競技大会において優秀な成績を収めたもの（全国規模第8位以内、東北規模第3位以内、岩手県規模第1位以内または県記録更新）
    - イ アに準じる顕著な成績を収めたもの（市中学校陸上競技大会記録更新など）
    - ウ その他、学校長が優秀と認めて推薦したもの
  - 善行・努力的分野
    - ア 地道な努力を継続して実践し、他の模範となる活動を行ったもの（伝統芸能継承活動、早起きマラソン6年間及び9年間皆勤賞）
    - イ その他、学校長が優秀と認めて推薦したもの

【事業費の内訳】

11節 消耗品費	34千円
・受賞者名簿印刷用紙	
・事務用消耗品	
印刷製本費	152千円
・賞状 400枚	

## 平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	03	02	104820	中学校伝統文化教育実践事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-2 学校教育の充実				
	施策	2 豊かな人間性の育成				
目的	地域に誇りを持ち、主体的に地域に関わる生徒を育成する。					
対象	大迫中学校の生徒					
意図	自己有用感が高まり、課題をよりよく解決する力が身につく。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
○大迫中学校における伝統文化教育の研究 249千円 見学や調査など、体験を通じた特別活動の実施 大迫の地域素材を取り入れた授業の実施						
市民参画の有無 【 】						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 研究指定校	校	校	計画	1	1	
			実績	1	1	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 自分にはよいところがある、どちらかといえばあると回答した生徒の割合	%	%	目標	-	95.0	
			実績	93.0	96.0	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 （新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載） 自己有用感を持つことができる生徒の育成を目指し、生徒が答えるアンケート項目から設定した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	研究指定校である市立大迫中学校の設置者である市が関与することは妥当である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	自分が生まれ育った地域を改めて見つめることにより、生徒の意識が変わり積極的に地域に関わろうとする態度を養うことができる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	事業費は先進地視察等の出張旅費と、事業を実践するうえで必要と見込まれる事務費用のみであり削減余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	研究指定校の取り組みを国立教育政策研究所の発表会や学校のホームページを通じて発信することにより、市内外の中学校でも成果を確認することができる。
総合評価 …上記評価結果の総括		

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	03	02	104820	中学校伝統文化教育実践事業

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		303	249		△ 54
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他	303	249		△ 54
	一般財源				

※特定財源の内訳

その他 諸収入 教育課程研究指定校事業委嘱金 249千円

事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返	<input type="radio"/> 期間限定	[平成 29 年度 ~ 平成 30 年度]
------	--	----------------------------	-----------------------

部重点施策における目標

豊かな人間性の育成

事業開始の背景・経緯

国立教育政策研究所教育課程研究センターから教育課程研究指定校事業の委嘱を受けたことに伴い、大迫中学校において伝統文化教育の研究に取り組む。期間は、H29とH30の2か年度

事業概要

○大迫中学校における伝統文化教育の研究 249千円  
見学や調査など、体験を通じた特別活動の実施  
大迫の地域素材を取り入れた授業の実施

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

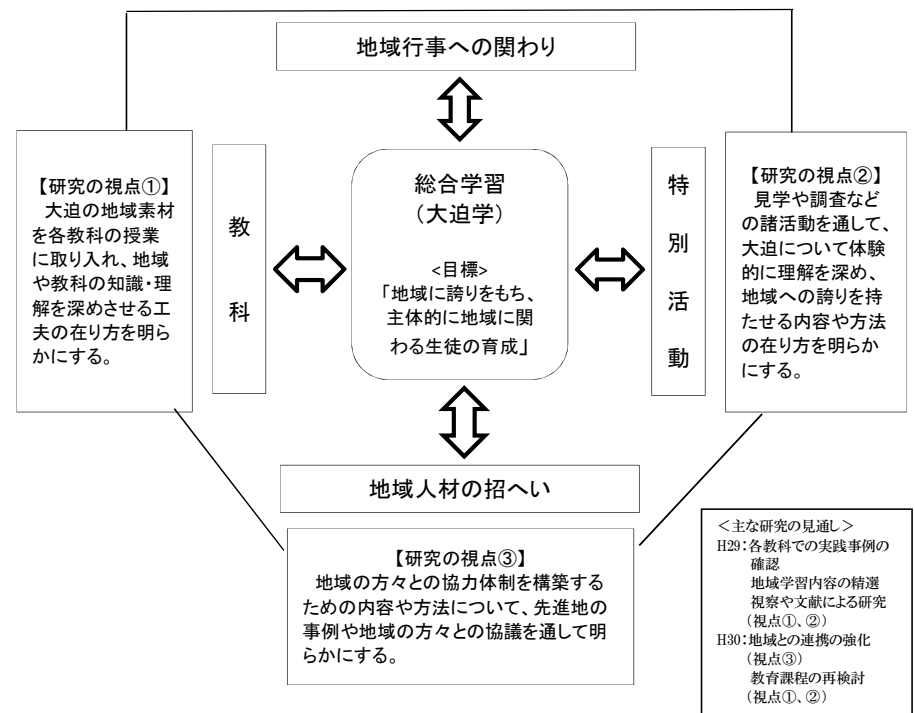
担当部署 教育部 課名 学校教育課 担当係長 菅原 修一 内線 9-30-362

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

【大迫中学校における研究課題】

無形文化遺産「早池峰神楽」の里で生きる力を育む 地域を学ぶ・地域から学ぶ「大迫学」



《経費の内訳》

科目(節名称)	金額(千円)	内訳・積算
9 旅費	152	・金沢大学附属中公開研究会参加(1名) 60,394円 ・京都市立醍醐中学校公開研究会参加(1名) 60,940円 ・研究協議会出席旅費(1名) 30,230円
11 需用費	45	・消耗品費 45,436円 (コピー用紙、印刷トナー、封筒)
	40	・印刷製本費 39,852円 (リーフレット印刷)
12 通信運搬費	12	・リーフレット送付代 12,000円

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	01	104400	学校文化活動事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-2 学校教育の充実				
	施策	2 豊かな人間性の育成				
目的	芸術文化活動の充実					
対象	文化活動を行う児童生徒					
意図	芸術文化に親しみを持つようになる。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○花巻市中学校文化連盟補助 360千円 市中学校文化連盟が実施する各種事業に対し補助 ○音楽コンクール等出場補助 131千円 市内小中学校の文化部等の大会出場経費の一部を補助						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 補助件数		件	計画	9	9	
			実績	6	7	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①			目標			
			実績			
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 （新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載） 補助事業のため、活動指標の補助件数をもって成果と見なす。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	文化活動の充実、特色ある教育の展開と心の教育の充実に繋がる。児童生徒の合唱や演劇などへの取り組みを支援することは、豊かな情操を養うことに資するものであり、市としての関与は必要である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	中文連の事業内容を充実させることにより、中学生の文化活動の水準の向上が期待できる。また、補助により音楽コンクール等への出場機会が増え、大会で他者の発表を見て意欲が高まる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	事業運営のための事業費は必要最小限で計上されており削減の余地はない。また、補助金支出に係る事務は委託には馴染まないもので、人件費の削減余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	中文連は市内全中学校で構成する組織であり、音コン等出場補助の対象は「市内の児童生徒」であるため、受益機会は均等である。経費負担については、受益者負担金が主で、これに対し市が一定の割合で補助金を交付するものであり、均衡はとれている。
総合評価 …上記評価結果の総括 発表の場を提供するなどの連盟の取り組み、また、コンクール等各種大会への出場に要する経費に対し補助することで、児童生徒の文化活動が円滑に行われ、活動内容のさらなる飛躍、ひいては児童生徒の情操教育の充実化に繋がることが期待される。		

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	104400	学校文化活動事業

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		478	491		13
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	478	491		13

※特定財源の内訳

--

事業期間  単年度繰返  期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]

部重点施策における目標  
夢と希望をもち、たくましく生きぬく子ども達を育む学校教育の充実

事業開始の背景・経緯  
児童生徒の豊かな情操を養う文化・芸術活動の役割が重要となってきた中、市内小中学校の文化活動の振興・発展のため、平成14年度に花巻市中学校文化連盟が組織され、事業を実施している。また、運動部の活動に係る助成制度との均衡も考慮し、活動の成果を発表する場である各種コンクール等への出場が円滑になされるよう、所要経費に対し補助する必要がある。

事業概要  
○花巻市中学校文化連盟補助 360千円  
市中学校文化連盟が実施する各種事業に対し補助  
○音楽コンクール等出場補助 131千円  
市内小中学校の文化部等の大会出場経費の一部を補助

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

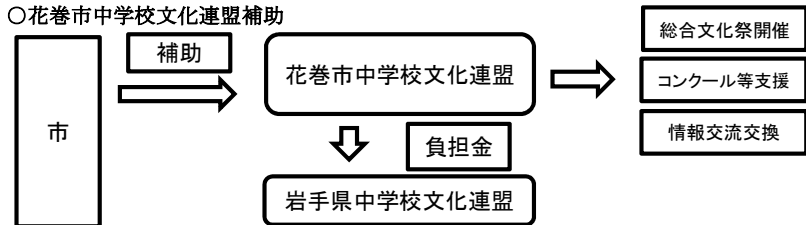
担当部署 部名 教育部 課名 学校教育課 担当係長 菅原 修一 内線 9-30-362

(単位：千円)

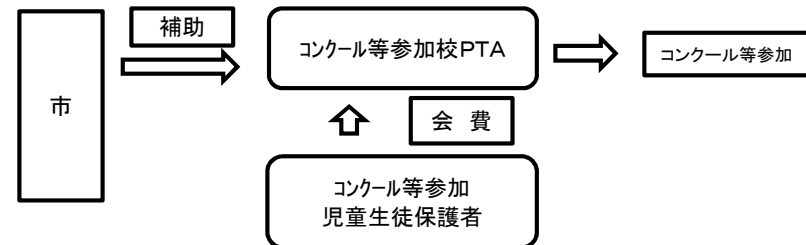
《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

【事業手法】

○花巻市中学校文化連盟補助



○音楽コンクール等出場補助



【事業費の内訳】

●事業費合計 491千円

①花巻市中学校文化連盟事業補助金 360千円

- (1) 総合文化祭開催事業
  - ・花巻市中学校総合文化祭の開催
  - ・岩手県中学校総合文化祭への参加

②音楽コンクール等事業補助金 131千円

- 地区予選等を経て岩手県、東北又は全国の音楽コンクール等の大会に出場するために要する経費に対し補助

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	01	03	104860	キャリア学習支援事業	
総合計画	重点戦略					
	分野	人づくり				
	政策	3-2	学校教育の充実			
	施策	2	豊かな人間性の育成			
目的	「生きる力」を育む					
対象	市内小・中学生					
意図	自ら学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力（生きる力）が身につく					
<p>○体験的な学習の充実 6,372千円 各小中学校が総合的な学習時間に、市内または被災地等において農業体験やボランティア活動、復興教育実施校による被災地訪問や防災に関する授業等を実施</p> <p>○生徒会ボランティア活動支援 220千円 各中学校生徒会が自ら企画・実施するボランティア活動（学区内のゴミ拾い、福祉施設の清掃、雪かき等）に対する支援</p>						
市民参画の有無 【 】						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 取り組み学校数	校		計画	30	30	
			実績	30	30	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 参加児童生徒数	人		目標	15,700	15,700	
			実績	16,474	16,371	
② 友達に対して思いやりのある言動をしていると答えた生徒の割合	%		目標	93.0	93.0	
			実績	95.4	94.3	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

<p>成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)</p> <p>管内全小学校を対象として総合的な学習の時間などを活用して、立地する地域社会や児童の特性を踏まえ、様々な体験的活動を通じた学習活動を推進することにより、児童の「生きる力」を育むことを目的としているため。</p>		
目的妥当性	<p><b>公共関与の妥当性</b></p> <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	<p>学校教育法第5条により、学校設置者による負担を義務づけられた義務教育費であることから、花巻市による関与は妥当である。</p>
有効性	<p><b>成果の向上余地</b></p> <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	<p>各校において独自の創意工夫により計画・実施しているところであり、量的な取り組み状況としては一定の成果をあげているところだが、他校の事例を参考にすることで質の向上を図ることが可能である。</p>
効率性	<p><b>事業費・人件費の削減余地</b></p> <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	<p>事業内容を見直し、26年度からバス代3割の削減をしており、保護者負担増回避のためこれ以上の削減は難しい。 また、学校の授業であることから、教員の関与が必ず必要であるため、アウトソーシングによる人件費の削減には馴染まない。</p>
公平性	<p><b>受益と負担の適正化余地</b></p> <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	<p>市内の全小中学校において取り組まれている事業であり、受益機会は適正である。 また、義務教育学校における教育課程実施上の必要経費であり、学校設置者が負担すべき経費であることから、費用負担も適正である。</p>
総合評価 …上記評価結果の総括		

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】 新規事業

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	01	03	104860	キャリア学習支援事業

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		6,753	6,592		△ 161
財 源 内 訳	国・県				
	地方債	1,200	1,200		
	その他				
	一般財源	5,553	5,392		△ 161

※特定財源の内訳

過疎債（大迫地区、東和地区の学校で実施する分）1,200千円

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	-------------------------------	-----------------

部重点施策における目標

豊かな人間性を育む

事業開始の背景・経緯

H29まで「小学校地域体験型学習事業」、「中学校地域体験型学習事業」、「復興教育学校支援事業」、「生徒会ボランティア活動支援事業」として実施していたものを統合して学校の裁量を増やした。

事業概要 …目的を実現するための事業手法を記載すること

- 体験的な学習の充実 6,372千円  
各小中学校が総合的な学習時間に、市内または被災地等において農業体験やボランティア活動、復興教育実施校による被災地訪問や防災に関する授業等を実施
- 生徒会ボランティア活動支援 220千円  
各中学校生徒会が自ら企画・実施するボランティア活動（学区内のゴミ拾い、福祉施設の清掃、雪かき等）に対する支援

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 教育部 課名 学校教育課 担当係長 菅原 修一 内線 9-30-362

（単位：千円）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

H29まで「小学校地域体験型学習事業」、「中学校地域体験型学習事業」、「復興教育学校支援事業」、「生徒会ボランティア活動支援事業」として実施していたものを統合した。

新学習指導要領（H30年度から移行、小学校はH32、中学校はH33年度から全面实施）

<各学校におけるカリキュラム・マネジメントの確立>

○学校全体として、教育内容や時間の適切な配分、必要な人的・物的体制の確保、実施状況に基づく改善などを通して、教育課程に基づく教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントの確立が必要である。

「小学校地域体験型学習事業」

「中学校地域体験型学習事業」

「復興教育学校支援事業」

「生徒会ボランティア活動支援事業」

学校が主体的に必要な人的・物的体制を確保してカリキュラム・マネジメントを実施できるよう4つの事業を統合し教育環境を整備

「キャリア学習支援事業」

～自ら学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力の育成～

地域体験型学習

- 農業体験、職場体験、野外活動、講演会等

復興教育

- 被災地訪問、防災に関する授業等

生徒会ボランティア活動

- 学区内のゴミ拾い、福祉施設の清掃、雪かき等

節	細節	費目	内訳	金額
8	01	各種行事報償費	勤労体験学習用地借用謝礼	45,000
8	02	講師報償費	講師、助言、指導者等謝礼	709,000
11	01	需用費	体験学習用消耗品、生徒会ボランティア用消耗品	618,858
13	01	委託料	体験学習指導業務委託料	60,000
14	03	自動車借上料	地域体験、復興教育バス等借上料	5,144,135
14	04	機械借上料	地域体験学習用機械借上料	15,000
				6,591,993